

(様式1)

平成30年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 081	提案機関名 畜産技術センター 普及指導課
要望問題名 差別化のための「かながわ鶏」の飼育期間と肉質の詳細な調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 「かながわ鶏」の販売戦略のひとつとして、肉を販売する時点で、ターゲットを絞り、おいしい食べ方を提案するという手法が考えられる。従って、例えば、「男性向けのやきとりにするためには、・・・日間飼育した鶏」や「女性向けのヘルシーな料理向けには、・・・日間飼育した鶏」など、使用目的（料理）に応じた肉質を提供したい。また、かながわ鶏をおいしく食べられるメニューの提案も必要となる。そこで、それらの基礎となる、かながわ鶏の飼育期間や雌雄の別と肉質の関係などについて、より詳細な検討をお願いする。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の飼養管理技術の確立 (H26～28) かながわ鶏の飼養管理技術の確立 (H29～33)			
対応の内容等 かながわ鶏の飼育期間については、平成28年度に雄を供試し、「出荷日齢の違いが発育・肉質に及ぼす影響」を検討しています。 雌雄の別による肉質の関係については、現在実施中の課題の中でデータを収集していきます。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			